

2024年 保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2024年12月26日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス南流山教室

対象人数（保護者）19人 回答者数 14人 回収 73.7%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	教室からのコメント
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					基準を満たした広さとなっております。人数や活動に応じて安全に過ごせるよう配慮しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					人員配置を満たしております。また、専門性を高めるために、運動あそびの指導法や発達支援関連の研修に定期的に参加しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					死角を作らない配置をしております。入室後、すぐに準備に取り組みることができるようロッカーの位置や水筒を置く場所など工夫しながら環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					クッションフロアを使用し、怪我の防止に努めています。また、季節ごとに壁面に制作物を飾り、お子様が楽しく過ごせるよう環境を整えています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					統一した支援を行えるよう、朝礼、昼礼、夕礼を通してお子様の目標やニーズを確認しています。
	6 事業所がホームページ等で公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					柳沢運動プログラムから日々の活動内容を考案しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1			・わがままかもしれませんが、集団療育だけでなく短時間でも個別療育も受けれたらもっと苦手を克服できそうだな、と感じます。	貴重なご意見ありがとうございます。今年度から言語療育での個別支援を開始しています。また、運動だけでなく机上課題も用いた小集団での支援にも力をいれておりますので、ご希望ございましたらいつでもお気軽にご相談ください。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					ガイドラインに基づき利用者様に無理のない計画を立て療育及び運営をしております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					個々に応じた目標に沿ったプログラムを立てさせていただいております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1		月ごとに運動目標を定め、その目標にそった運動プログラムを週案として定めています。運動療育ですので、繰り返すことが大切です。ですが、毎日の運動が同じ内容とならないようにその日のお子様の人数や目標に合わせた運動プログラムの考案をリーダーが行っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3		2		自治会でのイベントに参加しています。避難訓練では思井福祉会館まで歩き、地域の方と挨拶を交わし交流を図っています。今後更に地域交流を円滑に進められるよう活動の機会を考えていきたいと思っております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					ご契約時や小学校に上がるタイミングで説明させていただいております。ご不明点がありましたらご説明いたしますのでお問い合わせください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					対面での面談時にご説明させていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2		3	・特に希望したこともなかったので、伺ったことはありません。	今後、ご家族様への研修会やペアレントトレーニングの案内を充実させていきたいと思っております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					帰りの送迎時に日々のお子様の様子について共有しております。引き渡し時にお会いできない保護者様とは電話やLINE、HUGで状況を伝えさせていただいております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1				不安なことがありましたらいつでもご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					お子さまの「できた」に目を向けながら運動療育を行っています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3		3	・お祭りのイベントではきょうだいも楽しむことができました	今年度から保護者様と一緒に参加できるイベントを企画しています。今後、お子様のご兄弟も楽しめるイベントを企画していきたいと思っております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			1		些細なことでもご連絡いただければ迅速に対応させていただきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					現在はラインを通じて利用前日の確認連絡やイベント案内、モニタリングの日程調整等やりとりをさせていただいております。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13			1		毎月の教室便りにて活動報告をし、ラインでの案内や、ホームページにて情報を公開しています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					個人情報保護の重要性を全職員で共有し個人情報の適切な取り扱いと保護に努めております。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			1		緊急対応についての用紙を保護者様にお渡しさせていただいております。また、伝言ダイヤルを用いた訓練を通して災害時の連絡ツールの確認をさせていただいております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			1		毎月避難訓練週間をつくり、様々な災害を想定した訓練を行っております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		お子さまの安全を第一に考え、支援を行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					運動中の怪我や、体調面に異変があった際にはすぐに電話にて連絡を行っております。
27 こどもは安心感をもって通所していますか。	14					お子さまが安心できる環境となるよう、日々支援を行っております。	

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		お子さまが楽しみながら活動に参加できるよう運動プログラムを考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても満足しています</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> <li>・姉弟でお世話になり、2人ともとても成長しました。姉の方は4月に卒業して弟だけになりましたが利用日をととも楽しみにしています。</li> <li>・楽しそうなイベントもたくさん計画していただいて、参加出来るものは本人から「行きたい!」と言ってきてくれます。</li> <li>・送迎の際、その日の様子を丁寧に話して頂き、HUGでも見ることが出来るので、安心しております。</li> </ul>	<p>日頃より当教室の療育にご理解いただき誠にありがとうございます。子どもプラスでの運動療育を通して、学校での体育が好きになった。鉄棒逆上がりができるようになった等、嬉しい言葉や笑顔に励まされながら日々お子様と向き合わせていただいております。</p> <p>南流山教室では、運動療育だけではなく社会性を養う為の外出活動や、ソーシャルスキルトレーニングにも力を入れながら、支援を行っています。楽しみながらも、日頃できないようなイベントや体験を今後も企画していきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。</p>

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス南流山教室

公表日 2024年 12月 26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	8		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		